

読んでスッキリ♪ いまさら聞けない？
話題のニュースを学べるマガジン

ご参考資料 ピクテ投信投資顧問

Bonjour

ボンジュール!!

2017年
2月2日号

Vol.342



「トランプ相場」で日本株は？

● トランプ節炸裂

米国でトランプ新政権が始動して10日あまりが経過しましたが、トランプ政権が乱発する大統領令を受けた混乱で市場は方向感を失いつつあります。トランプ節に動揺し大きく上下する相場を振り「トランプ相場」ならぬ「トランプ相場」なる言葉も聞かれるようになりました。

● 日本株式ピクテの見立て

1月25日NYダウは史上初の2万ドルの大台を突破、一方で日経平均株価は2万円の大台を目前にもみ合う展開が続いています。ここから日本株はどのような展開が期待されるのでしょうか。

ピクテは、日本株式が相対的に割安な状況にあると考えています。

その理由は主に3つです。

- ①円安が輸出企業の業績にプラス寄与
 - ②堅調な労働市場が個人消費の伸びに寄与
 - ③日銀の金融緩和が株価上昇に寄与
- 日本はファンダメンタルズ(基礎的条件)が堅調であるとの見立てです。

1月末までに決算発表した上場企業の2016年10~12月期決算の純利益は前年同期比で31%増えました。増益は2015年4~6月期以来6四半期ぶりです。ちなみに、2016年10~12月期の円相場は平均1ドル=109円台半ばと前年同期に比べて12円程度も円高でしたが、増益を確

保したことから、そのモメンタムの強さが伺えます。

● 日経平均株価「祝2万円」聞けるか!?

ピクテでは、向こう3カ月の日経平均株価は2万円を上値に推移すると見えています。

2万円を試すとすれば、足元で本格化する2016年4~12月の3四半期分の決算発表、あるいは4月末からの本決算のタイミングに期待できそうです。来期の2ケタ増益シナリオが確認できる内容であれば、相場上昇の勢いには弾みがつくと考えられます。

勿論、日本株ならば何でも良いという訳ではありません。

森のみならず木を見て、厳選して投資することが重要です。

銘柄選びのキーワードは「稼ぐ力」。

景気回復の波に乗り、来期に向けて高業績が期待される銘柄を選びましょう。

今話題の産業用ロボットなど、ファクトリーオートメーション(工場自動化)銘柄や設備投資増加で業績に追い風期待の機械セクターなどにも注目ですね。

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。